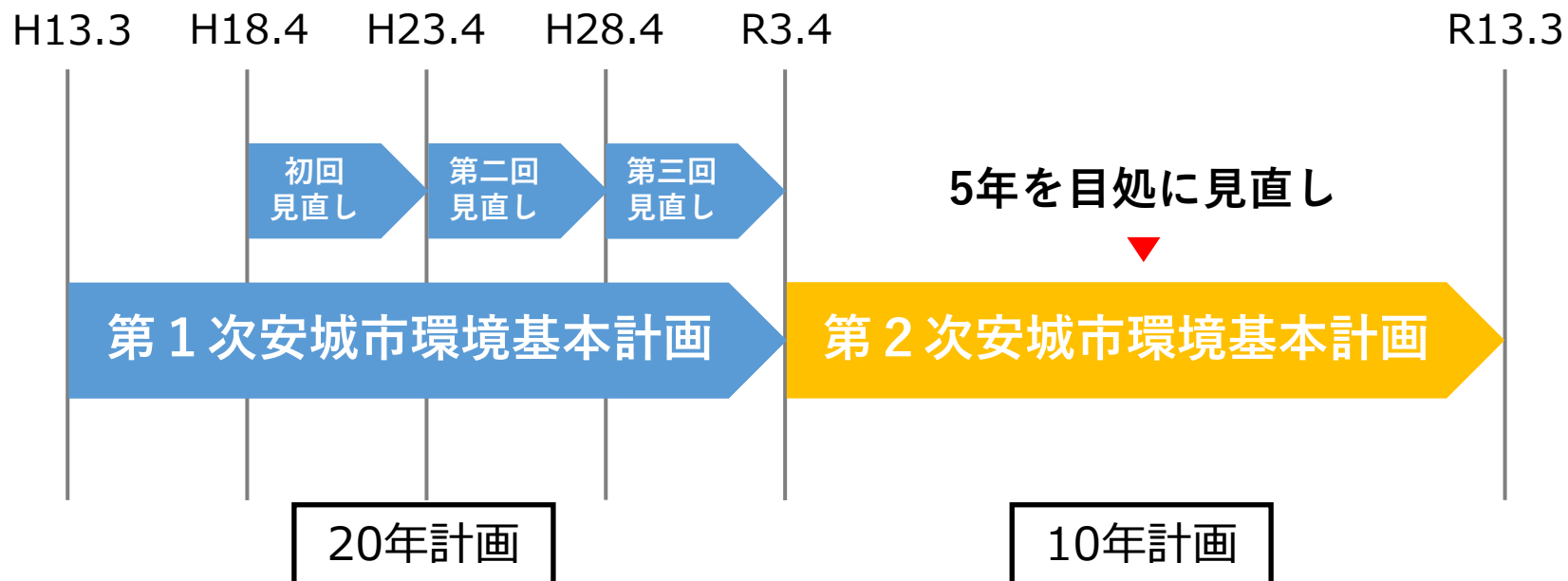


資料2

第2次安城市環境基本計画の 進捗状況について

第2次安城市環境基本計画とは

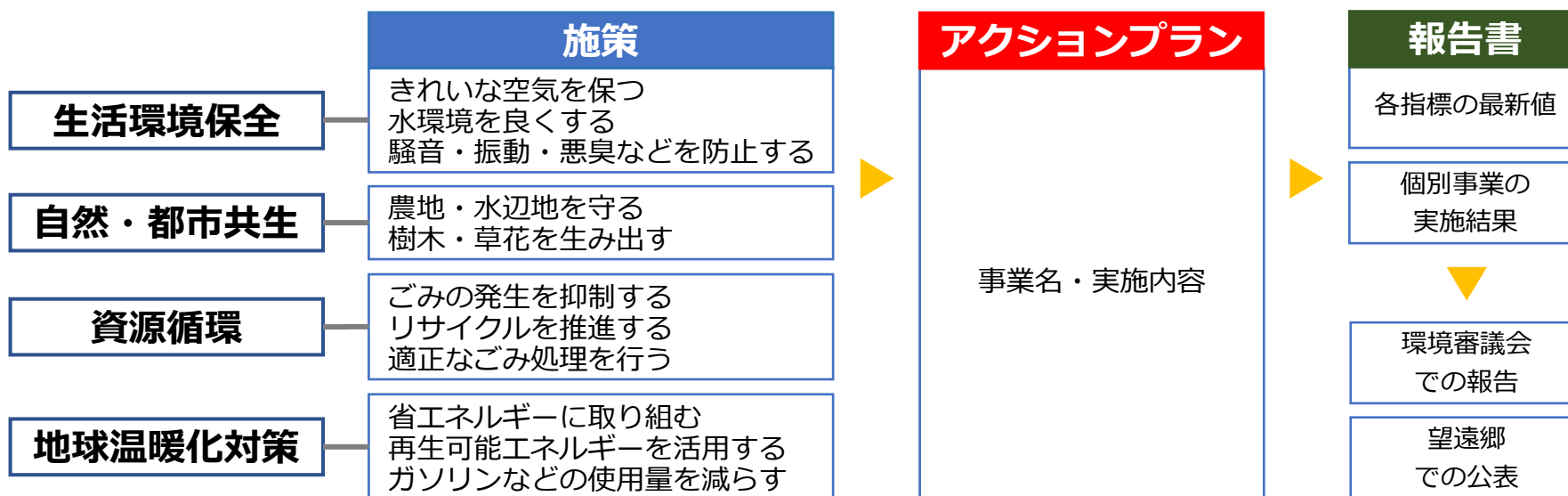
- 安城市環境基本条例に基づき、環境の保全と創造に関する施策を定めるもの。
- 第1次計画（平成13年3月策定）は、令和2年度を目標年次とした20年計画で、5年ごとに定期的な見直しを行ってきた。
- 第2次計画は、令和3年度から令和12年度までの10年間をその計画期間とするが、社会情勢等の変化に応じ、5年を目処に見直しを行う予定。



- 理想とするまち「環境負荷の少ない、人と自然が共生しているまち」
⇒環境基本条例前文「環境への負荷の少ない人と自然が共生することができる 地球にやさしい環境都市」を簡潔に表現。
- 環境基本条例第8条の「施策の方針」をベースに、「理想とするまち」を支える4つの柱と、それらを支える土台を設定。



- 10年間の長期計画であるため、計画本編に個別の具体的な事業名は記載しない。
- 実際に取り組む事業については、毎年度各課に照会し、「アクションプラン」として公表する。
- 事業の実績等についても毎年度各課に照会し、指標として掲げた項目の最新値とともに「環境報告書」として取りまとめ、環境審議会に報告、望遠郷で公表する。



柱1：生活環境保全



理想とする状態

大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音などといった生活や健康に係るリスクが十分に軽減され、市民にとって健康で安全な暮らしが実現しています。

必要な取組み

大気や排水などに含まれる汚染物質を減らし、周囲に迷惑となる悪臭や騒音などを発生させないような日常生活・事業活動をし、安全安心な生活環境を確保します。

施策

- ①きれいな空気を保つ ②水環境を良くする
- ③騒音・振動・悪臭などを防止する

指 標	基準値 (2019年度)	最新値 (2022年度)	目標 (2030年度)
①大気環境基準達成率	100%	100%	100%
②水質環境基準達成率	64%	79%	100%
③道路騒音の要請限度達成率	100%	100%	100%
④ダイオキシン類の環境基準達成率	100%	100%	100%

② 水環境を良くする



事業名	事業概要	指標	実績	担当課
油ヶ淵 浄化デー事業	油ヶ淵水質浄化促進協議会において、7月の第4日曜日を「油ヶ淵浄化デー」と定め、近隣市と協働で、油ヶ淵周辺と半場川、長田川の清掃活動を行います。	参加人数	1,067人	環境都市 推進課

環境報告書 P 4

理想とする状態



良好な農地・水辺地と、緑あふれる都市部があり、まち全体で恵み豊かな自然を感じることができます。

必要な取組み

農地を適切に保ちながら、都市開発を行います。また、都市化する中においても、緑地や水辺地を確保し、自然の恵みを感じられるまちにします。

施策

- ①農地・水辺地を守る ②樹木・草花を生み出す

指 標	基準値 (2020年4月)	最新値 (2023年4月)	目標 (2030年度)
①都市公園の面積	100.21ha	102.88ha	↑
②多面的機能活動対象区域面積率	90.3%	91.8%	↑
③多自然川づくり整備延長距離	6,600m	6,600m	↑

① 農地・水辺地を守る



事業名	事業概要	指標	実績	担当課
農業後継者対策事業	農業後継者の育成につながる農業体験を行う市民団体の活動を支援し、農地の維持を推進します。	ボランティアグループの活動回数	11回	農務課

環境報告書 P 7

柱3：資源循環

理想とする状態



ごみの減量、再利用、処理が適正に行われ、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り軽減されています。

必要な取組み

より一層の4Rの推進により、ごみを減量するとともに、ごみを適正に処理し、最終処分するごみの量を減らします。

施策

- ①ごみの発生を抑制する ②リサイクルを推進する ③適正なごみ処理を行う

指 標	基準値 (2019年度)	最新値 (2022年度)	目標 (2030年度)
①1人1日当たりのごみ排出量	924g/人・日	902g/人・日	↓
②最終埋立処分量	5,875 t	4,840 t	↓

① ごみの発生を抑制する (R4新規)



事業名	事業概要	指標	実績	担当課
食品ロス削減事業	食品ロスマッチングサービス「AnjoたべRing by タベスケ」を活用し、事業系食品ロスの削減を推進します。	削減量	3,850g	ごみ資源循環課

環境報告書 P 9

柱4：地球温暖化対策

理想とする状態



地球温暖化の要因とされる二酸化炭素などの温室効果ガスがほとんど排出されていない社会活動が行われています。

必要な取組み

再生可能エネルギーを最大限に活用し、化石燃料から作られたエネルギーの消費を抑えた生活・事業活動を促進します。

施策

- ①省エネルギーに取り組む
- ②再生可能エネルギーを活用する
- ③ガソリンなどの使用量を減らす

指 標	基準年度 (2013年度)	最新値 (2020年度)	目標 (2030年度)
温室効果ガス排出量	2,590千t-CO ₂	2,028千t-CO ₂	1,398千t-CO ₂

※2013年度比46%減

③ ガソリンなどの使用量を減らす (R4新規)



事業名	事業概要	指標	実績	担当課
集合住宅向け電気自動車等充電設備普及促進事業	集合住宅に充電設備を設置する管理組合や所有者に補助金を交付し、電気自動車等の普及を促進します。	集合住宅向け電気自動車等充電設備普及促進補助金交付件数	3件	環境都市推進課

環境報告書 P 12

理想とするまち



皆が、高い環境意識を持ち、主体的に単独または協働で行動しています。

必要な取組み

4つの柱の各施策を推進するための環境意識を高めつつ、環境行動を促します。

施策

- ①情報を発信する・収集する
- ②学ぶ・体験する
- ③行動する

② 学ぶ・体験する (R4新規)



事業名	事業概要	指標	実績	担当課
SDGsジュニアキャンプ事業	市内小学生を対象に、長野県根羽村でSDGsに関係する体験コンテンツを楽しみながら、SDGsについて自分ができることを考える機会をつくることで、次世代を担う人材育成を図ります。	事業実施回数 など	実施回数 2回 参加者数 76人	健幸= SDGs課

環境報告書 P 13

柱1：生活環境保全



わくわくネイチャースクール事業(アクションプランP5)



柱2：自然・都市共生



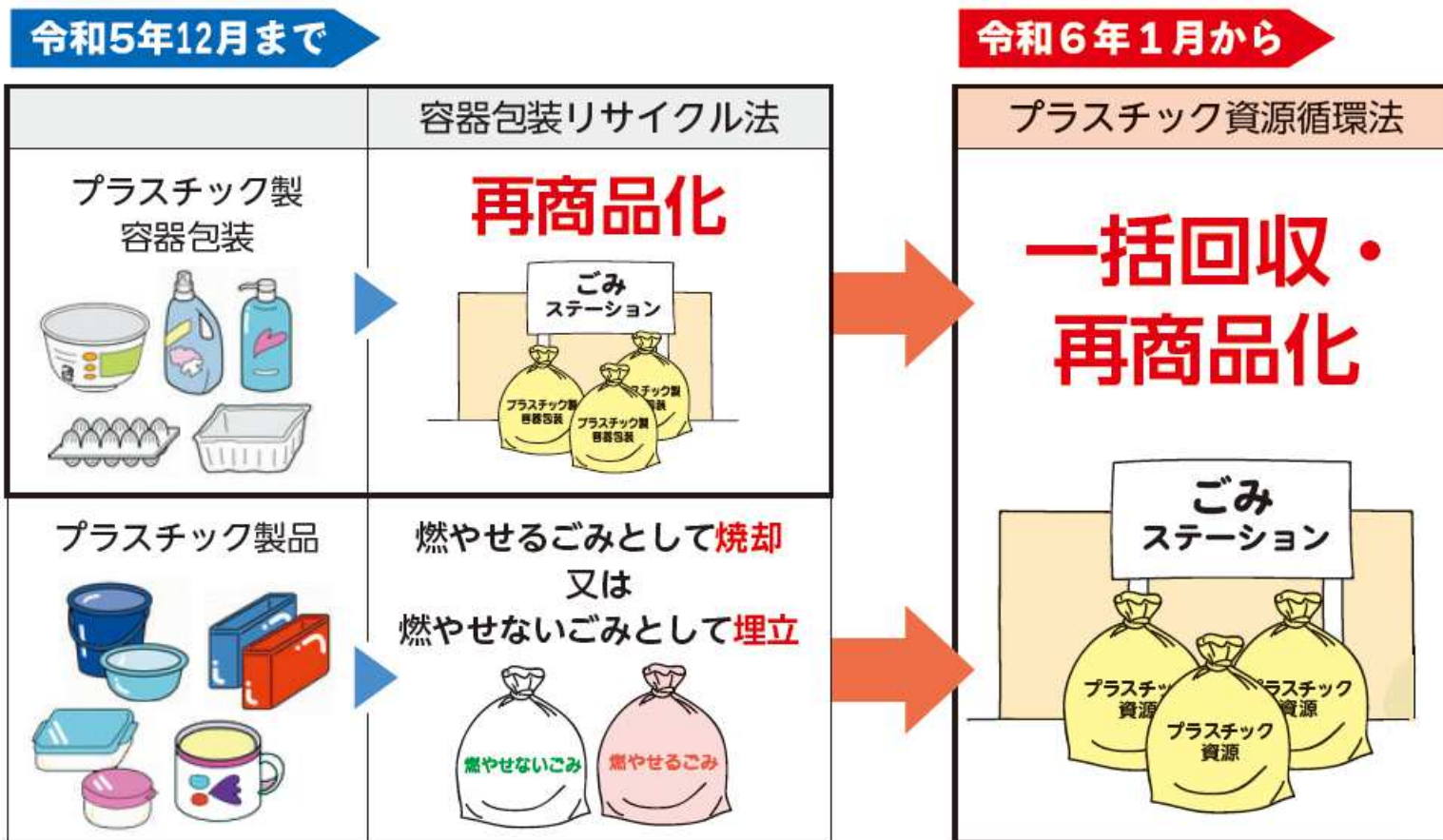
緑化木配布事業(アクションプランP8)



柱3：資源循環



資源再生化事業(アクションプランP9)



柱4：地球温暖化対策



カーボンニュートラルな都市ガス供給事業(アクションプランP11)
廃棄物エネルギー地産地消事業(アクションプランP11)

